

## 第 27 回議会報告会 報告書

地 域 名	小佐地域		
年 月 日	令和 7 年 4 月 21 日 (月)	会 場 名	小佐コミュニティスポーツセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 00 分
参 加 数	男性 29 人	女性 2 人	合計 31 人
班 長	石本 毅	司 会 者	石本 毅
報 告 者	全員	書 記	北山 愛
班 員 名	石本 毅、北山 愛、西垣 司、谷垣 満		
	市 民	対 応	
報 告 に 対 す る 質 疑	<p>① 農家や農地の担い手が減る中で、台風による水路の被害やゴム堰の更新にかかる多額の費用負担が課題となっている。農業を維持するには行政支援の強化や迅速な対応が必要ではないか。農業や農地を守るという市の目標に対して、支援の実態が伴っていないのではないか。</p> <p>② 県の分収林事業は植林後 50 年以上経過し、管理できずに荒れていることで災害時の二次被害にもつながっている。収益性も大事だが防災面でも適切な管理が必要。市内の他地域の現状はどうか。</p> <p>③ 地域自治組織に関する条例議案の内容がわからない。理念条例ができて財政支援の条例は廃止し、規則ができるとはどういうことか。自治協の活動にどのようなメリットがあって、逆に制約事項が増えるのかなど解説してもらえると有難い。現在、地域づくり計画の見直しに取り組んでいるので、その参考にしたい。</p>	<p>① 国県の補助や市単独の補助制度もあるが、農家の減少により負担が増えていることは承知している。井堰の更新についても有利な補助制度を探して紹介していくことである。新規就農者の確保にも務めており増えつつある。農地・農業施設の維持は、非農家の方も含めた地域全体の取組みへと進みつつある。困難ではあるがご協力をお願いしたい。</p> <p>② 満期を迎えた分収造林は延長されているが、収支の課題や伐採後の管理の課題もある。治山・防災面での役割も理解しており、国・県の補助事業や森林環境譲与税を活用し、適正な管理を行う必要があると認識している。</p> <p>③ これまで財政支援に関する条例はなく、活動内容や理念を定めた条例が必要との意見があり、検討委員会を立ち上げて代表者等で協議をしてきた。他の自治体では理念等は条例で定め、運営交付金などに関することは規則で定めている例が多くあることから、そのような改正案になった。運営交付金の変更内容は面積要件の廃止や、人口割が 1 人当たりから区分毎の割合額に変更されたこと、重点加算分が設けられたことなどがある。条例では、改正時に開かれた議会の場での議論や議決が必要だが、規則は市当局と当事者である自治協との話</p>	

	市 民	対 応
		し合いで決められることから、その是非について賛否が分かれた。今後は新しい規則の中で、実情に合わせて適宜見直していくことが必要と考えている。
意見交換会での質疑	<p>① 旧小佐小学校の校舎について、以前に解体予定も示されたがそのままになっている。解体にも多額の予算が必要になる。計画的に積み立てて解体の予定を組み、地元を示していくことが必要ではないか。</p> <p>② 河川の土砂撤去を要望するが、なかなか実施されない。不安箇所を放置することで護岸の崩壊や農業施設の被害につながっており、被災時の修繕に要する地権者の負担も難しくなっている。農業を維持するうえでも、事前防災に資する早期の対応を議会からも県に要望して欲しい。</p> <p>③ 小佐コミュニティスポーツセンターは指定避難所だが、エアコンが壊れている。そのような避難所は他にもあるのか。今後、山火事や台風などで避難することも考えられる。早急に対処してもらいたい。防災無線、AEDも無い。他市では担当課が確認して回っている。各区に任せるのではなく市の防災安全課が確認や管理を行ってほしい。テレビや非常食も含めて整備が成されていないと認識している。</p> <p>④ 八鹿駅からタクシーを利用したかったが台数が少ないことで断られ、あっても1時間待ちとのことであった。バスの本数も少なく休日は運行していないので大変困った。高齢者も含めて移動手段の確保は重要。良い方策があれば検討して欲</p>	<p>① 今年度に公共施設等総合管理計画の見直しが行われる。人件費等工事費の高騰もあり、解体費も含めた予算の確保や計画的な執行など適切な維持管理が必要であると認識している。解体後の活用と合わせて地元から提案することで、予算確保につながる可能性もある。</p> <p>② 緊急的に対応されている箇所もあるが、不安箇所は多くある。国の国土強靱化の予算も活用しながら対策を進めているが要望に追いついていないのが現状である。護岸も改良されてきたが近年の瞬間雨量は想定を上回っており、脆弱な部分に被害が出ている。対策が必要な箇所は多くあるが、地道な取組を進め、適切な対応を行うよう今後も求めていく。</p> <p>③ 緊急時の避難所の設備が重要であることは認識しており議会としてもフォローしていきたいが、他の避難所でもテレビやエアコンが整備されていないところもある。全ての避難所に充実した設備を整備し維持管理することは困難であることから、日常に利用する公民館や、集いの場としての活用の視点から改善を求めることも一案であり協力していきたい。</p> <p>④ 通学や、障がい者・高齢者福祉においても移動手段確保の必要性は認識している。タクシーやバスの運転手不足に対して、自動運転バスの実証実験などを行い人口減少を補う手立てを検討している。健康加齢の延伸においても重要であり、高齢者のタク</p>

市 民		対 応
	しい。	シー優待制度などを設けて移手段の確保に努めているが、人口減少の進行によりとても難しい課題である。
その他 (提言など)	<p>① 地域で移動販売を行っていた業者が辞めることから、アンケートを取り必要な地区に別の業者に週一回来てもらっている。個別の宅配を利用している家庭もあるが、民間企業であり利用者が少なくなれば収益性の問題で来られなくなることも考えられ、無くなってしまう不安を感じている。</p> <p>② 外から見た養父市の良い所を教えてください。人がやさしいとか自然環境が良い以外に市の魅力は何か。</p> <p>③ 交通の便や高齢化の問題から大きな会社の誘致は難しいが、ITなど小さな会社が増えれば同じ効果がある。就業先があれば地元でも結婚や出産につながり、人口が増加する可能性もあるのではないかな。</p>	<p>① ご意見としてお聞きし今後の参考にします。</p> <p>② 医療費の無償化など子育て支援の充実は近隣他市の子育て世代からも評価されており、そのことを理由にした若い世代の移住者もある。有機農業を目的にした移住者も多くあることから一つの魅力だと感じている。 国家戦略特区も大きな魅力であった。また、人のつながりは社会の発展に不可欠であり、養父市には色濃く残っていることが大都市にはない魅力だと思っている。</p> <p>③ 大屋町由良の工業団地では事業拡大の動きもあり市も支援している。新市長は民間企業出身でその分野での手腕にも期待している。また養父市場の旧グンゼ工場跡地の活用については、起業やスタートアップ企業の誘致も含めて検討が進められている。中小企業振興奨励制度も充実しているが、現存企業の伴走型支援の強化も重要である。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和7年5月19日

報告者 2班 班長 石本 毅